

令和2年度

学校関係者評価報告書

学校法人 平野学園

ヴィジョンネクスト情報デザイン専門学校

学校関係者評価委員会

1. 日 時：令和3年3月12日（金）16時～17時30分

2. 会 場：トーラス 5F

3. 委員名簿：

名 前	所 属	任 期	種 別
青木 伸晃	株式会社トーカイ・アピ ア 取締役専務	平成31年3月～令和3年3月（2年）	卒業生
石原 傳也	株式会社オブリ 代表取締 役	平成31年3月～令和3年3月（2年）	元保護者会 長
大角 勇雄	大垣タクシー株式会社 代 表取締役	平成31年3月～令和3年3月（2年）	学校評議員

学校側参加者：校長 平野 宏司、副校長 岡本 春信、ファッション科主任 久保田百合子
情報デザイン科主任 西村 佳子

4. 学校が設定する評価項目説明（自己評価結果等）

(1) 教育理念・目標・育成人材等

○今年度、深刻なコロナ禍にみまわれ、入学式はできず、4・5月と休校とせざるを得なかった。

（特に感染症対策、学生指導）新校舎を建設し、本格的に留学生を受け入れる準備を行っていたので、職員一同非常に残念な思いであった。しかし様々な国（9か国）から受け入れた留学生が「日本であるいは母国で活躍できるようにしよう」という使命感を持って、職員一同学生指導を行ってきた。コロナ禍の中で社会情勢の変化が激しく、また学生の資質や希望も多様なため、一様な指導が困難であることがわかってきた。各学生の技術や意欲の差が大きく、学生指導の手法にさらなる工夫が必要である。

② 今後の改善方策

○「就職に向けた取り組み」が本人の希望とマッチングしていない。当校の理念が具現化するのが本来は就職であるが、実際の就職は必ずしも学生の希望通りにはならない。教育課程・学修内容の工夫を行っていく。

○いままで培ってきた当校の特徴をさらに生かしつつ、留学生に対しても丁寧に指導していく。

○企業や業界との連携をさらに強め、どのような人材が必要か研究し、教育課程に反映していく。
留学生の就職に対しても調査していく。

○留学生それぞれの国の文化を尊重しつつ、当学園の一員である誇りをもたせ、日本に溶け込むことができる学生指導を行う。

(2) 学校運営

① 課題等

○職員の人数がふえてきたので、連絡・相談などのコミュニケーションがむづかしくなってきた。学生の遅刻欠席等連絡事項がととても多いので、ホワイトボードに書いたり、ラインで情報共有を行っている。非常勤職員との連携に課題がある。今後も授業ノートなど丁寧に書いていただいているのでさらに連携していきたい。

○HPに関して、わかりやすいHPであるが、情報を更新していく頻度と、携帯端末からすぐに見てもらうことに難がある。FBの担当者を決めたので、現在更新頻度が増した。さらに当校の情報を載せていきたい。

② 今後の改善方策

○HPに関しては、海外からの留学生がよく見ているのが、FBを見ることが多い、ということがわかったので学生の活躍のようすをその都度発信していく。

○情報システムとして、据え置きプロジェクターを設置したので、ビジュアルな授業を行っている。(縫物の手元を写す、最新のファッションを見せる等) さらに活用していく。

○非常勤講師に対しては学生の動向等をこまめに報告し、更に連携を密に図る。ファッション科には一部ティームティーチングを導入し、困難を感じている学生の支援を行っている。情報デザイン科は卒業生がアルバイトで手助けをしてくれ、学生の支援から消毒まで行っている。

(3) 教育活動

① 課題等

○今年度「教育課程編成委員会」の意見を受け、「情報化」に対応できるように、情報デザイン科だけでなく、ファッション科でも使えるようにする必要がある。特に留学生に対して、必要な科目は何か、について議論をしている。科目の精選を行い、一部単位を減らしたが、自由選択科目を意欲ある学生が選択できるようにしたい。

○「職業実践専門課程」の認定を受けたので、認定校にふさわしい授業を行い、一般にも認められるように広報していきたい。

② 今後の改善方策

○職員の授業力の向上のため、清凌高校の先生方のご協力で、授業研究を行っている。さらに進めていきたい。

(4) 教育成果

① 課題等

○専修学校においては、「出口指導」は最も大切なものであり、毎日の授業や地道な生活指導の成果が、就職率の向上であり、資格取得である、という意識で指導をしている。コロナ禍の中、学生は就職活動をまじめに行ったが採用までにはいならず、3月1日現在、ファッション科2/2、情報デザイン科2/7(留学生の起業含む)という状況である。今年度中には全員の就職はむつかしいので、来年度母校として相談にのっていきたい。資格取得は学生の意識によって明暗がわかれている。検定に向けて大いにがんばった学生はファッション科は色彩検定・販売検定など多数の検定に合格、情報デザイン科はマイクロソフト検定や秘書検定を取得した。コンテストは多くが感染予防のために中止となってしまったのが残念であった。特に大垣ファッションフェスティバルが中止となり発表の場がなくなったが、代替措置としてファッションショーやコンテストの結果発表を別にビデオ収録し、youtubeで公開、また卒業式の時に披露して、2年間の集大成とした。

留学生の退学については、主にコロナの影響により学費の支払いが滞って退学せざるを得ない学生が数名でた。当校では支援にも限界があったが、来年度も引き続き可能性があるのもので、学生には計画をもって生活させる、儉約に努める、などの指導を行っていきたい。

② 今後の改善方策

○来年度いよいよ留学生の就職指導を本格化させるが、専門学校なので就職先や職種が限られている。(ファッション科では主にデザイナー、情報デザイン科ではITエンジニア) 専門でしっかり教えることはもちろんであるが、他の就職斡旋業者と連携したり、「特定技能」という専門とは直接関係がないが日本で就職したい学生のための職業の就職指導も並行して行う。日本人については、今年度のコロナの影響が残り、来年度も就職がきびしいことが予想される。しかし多くの資格をとり、履歴書に書いて社会にでていこう、という方針に変更はないので、積極的に挑戦させたい。今年度も特に「企業研究」の時間に先輩などの成功体験を聞かせたり、セミナー講師を招聘して(オンライン)お話を聞かせたりして、チャレンジする気持ちを起こさせた。来年度もさらに進めていきたい。

(5) 学生支援

① 課題等

○コロナ禍で4月から5月を休校としたため、4月から進めていく予定であったが教育内容の変更を余儀なくされた。しかし休校の間も学生の基礎的技能を醸成し、精神的ケアをするために週1回の登校を義務づけ、ファッション科は運針・マスク作成、情報デザイン科はタイピングの練習をさせた。そのおかげで6月から授業を開始したが、思いのほか学生は元気に登校してきて、授業もスムーズに開始することができた。感染対策を徹底させるため、マスク着用・手洗い指導、毎日の検温はもとより、学生に体温計貸与、持ち運びのできる消毒剤を持たせた。またメール・ラインでの連絡を確実にし、熱があつて感染が疑われる学生には、一部医療費を「見舞金」という形で支給し、病院に行かせた。名古屋市から通学している学生も少なくなく、他の学校で発症があるたびに学生に強く注意喚起をしてきた。そのおかげで現在までコロナの発症は確認されていない。コロナ禍の中、留学生は学費をアルバイトに負っている部分が多く、緊急事態宣言が出た後は特に学費の未納が目立った来たが、国からの給付金等の事務を確実にしたり、支払い計画の相談にのって、少しでも学生の不安をやわらげるようにした。

○経済的に苦しい学生に対して十分な支援ができていない。アルバイトに頼る生徒もいる。(アルバイトは社会経験を積む良い機会なので奨励している。)来年度は留学生指導が加わるが、アルバイトをやりすぎるといけないので、奨学金を充実させることによってやる気をださせて同時に支援となるようにしたい。

② 今後の改善方策

○学生の学費負担が少しでも軽減されるように、今後も県に対して補助金の増額などをお願いしたい。また留学生の増加が予想されるので、生活環境への支援も重要となってくる。

「学生サポート No1 を目指して」をスローガンとして、来年度積極的に進めていきたい。

○同じ法人である清凌高校とは常に連携している。またファッション科は、県内の同系統の学科をもつ高校とはいつも協力している。

(6) 教育環境

① 課題等

○新校舎はやや手狭であるが、旧校舎も活用して、密を避けることができている。来年度は学生が増えるので

工夫が必要である。

○マックは新型のものをたくさん購入した。予算の範囲内で今後も導入していく。来年度はミシ

ンが不足するかもしれない。

○避難訓練を今年も行った。留学生も真剣に取り組んだ。ビル火災は大変恐ろしいので、火の始末には最大限の注意を払っていきたい。

② 今後の改善方策

○学生にとってできるだけ学習環境を整え、当校で誇りをもって学べるようにしていきたい。また職員が増加するので職員室の整備（棚など）も必要である。

(7) 学生募集と受入れ

① 課題等

○本年は本格的に留学生を受け入れる体制を整えて、学生募集を行ない順調に学生の確保はできた。来年度入学予定の学生は、当校在校生が口コミ（SNS）でたくさん志望者を呼んでくれた。ただし退学者もでることがわかったので、場合によっては学生の補充ができるように学則を変更して、後期からも入学・卒業できるようにした。

○高校にはあらゆる機会をとおして当校の良さを広報している。岐阜専門学校各種学校連合会でアピールビデオを作成したり、パンフレットの充実を図っている。

② 今後の改善方策

来年度

○留学生はもちろんだが、日本人についてもさらに当校の教育活動の状況をしっかりと伝えていく。

(8) 財務

① 課題等

○新校舎を増設、施設・設備も増やした。長期的な視点にたって経営を行っていきたい。

② 今後の改善方策

○今年度留学生の日本語学校への新入生が来日できていないと聞く。留学生数が減った場合でも健全な財政であるように計画性をもって運営したい。

(9) 法令等の遵守

① 課題等

○コロナ禍ではあったが、授業数を適正に確保し、学生の出席率も入国管理基準をしたまわらないように十分に注意してきた。

② 今後の改善方策

○個人情報の管理について、紙媒体のみならず、データの流出に気をつけたい。さまざまな機会を通して職員に周知徹底している。

(10) 社会貢献

① 課題等

○本法人は「中日文化センター」として長い間地域の文化の中心として貢献をしてきたと自負している。今後も変わらず地域と共に歩んでいきたい。

○コロナ禍でほとんどすべての行事ができなかった。毎年恒例の「小学生プログラミング教室支援」もできず残念であった。岐阜県世界青年友の会主催の「外国人と語る会」でスリランカ人の学生が民族舞踊を披露したが、この時も別のバングラデッシュ人は熱があったため参加を見合わせた。

② 今後の改善方策

○留学生が地域の方から認められるためにはまずあいさつなど自分からしていくとかゴミ出しのルールを守るなど日本では当たり前のことを当たり前に行うという指導が必要である。そのうえで感染が落ち着いたら機会があればボランティアや地域貢献も行いたい。

5 評価会議に基づく学校評価

評価基準			
適切 4	ほぼ適切 3	やや不適切 2	不適切 1

1	教育理念・目標 育成人材等	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 学校の理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3
2	学校運営	運営方針に沿った事業計画が策定されているか。人事、給与に関する規定等は整備されているか。業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。教育活動等に関する情報公開が適切にされているか。情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3
3	教育活動	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。 キャリア教育・実践的な職業活動の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	3
4	教育成果	就職率の向上・資格取得の向上・退学率の低減が図られているか。 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	3
5	学生支援	就職に関する支援体制・学生相談に関する体制・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。 保護者と適切に連携しているか。 卒業生への支援体制はあるか。 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	3

6	教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。 防災に対する体制は整備されているか。	3
7	学生募集と受入れ	学生募集活動は、適正に行われているか。 学納金は妥当なものとなっているか。	3
8	財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 財政について会計監査が適正に行われているか。	4
9	法令等の遵守	法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか。 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 自己評価の実施と問題点の改善し自己評価結果を公開しているか。	4
10	社会貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。 学生ボランティア活動を奨励、支援しているか。 地域に対する公開講座・教育訓練積極的に実施しているか。	3

6. 評価委員からの意見・提言

- フェイスブックに力をいれている、ということで大変よい。今後も発信に力をいれてほしい。
- コロナが続いているが、学園としてふれずに前に進んでほしい。
- 資格はどのようになっているか。留学生としては就職のために、例えば自動車免許などをもっていたほうが有利かもしれない。また企業としては日本語ができる人材がほしいので日本語検定を積極的に受けさせるとよい。その他の検定があれば、積極的に受けさせてほしい。